

運動器疾患の特徴

荷重を負荷(圧迫)すると症状が出現、悪化する。
この場合、免荷(牽引)すれば症状は軽減する。

特定の方向に動かすと症状が出現、悪化する。
この場合、逆方向に動かすと症状は軽減する。

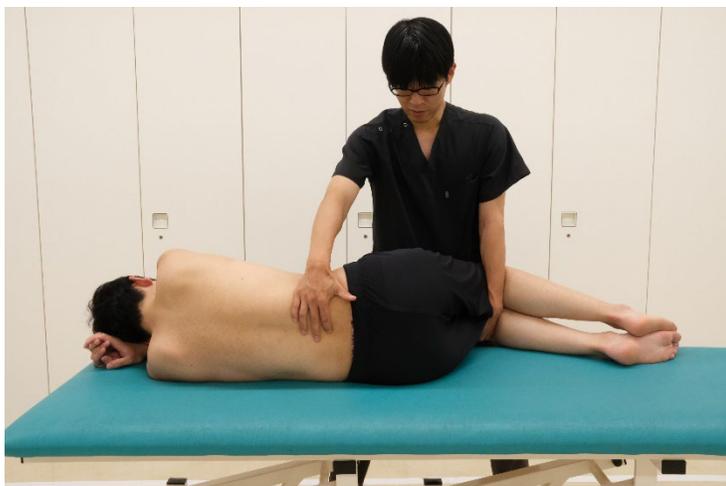
姿勢によって辛かったり、楽になったりする。

これに当てはまるなら、解明できる可能性がある



他動運動テスト

Passive physiological intervertebral movement
(腰椎他動運動テスト)



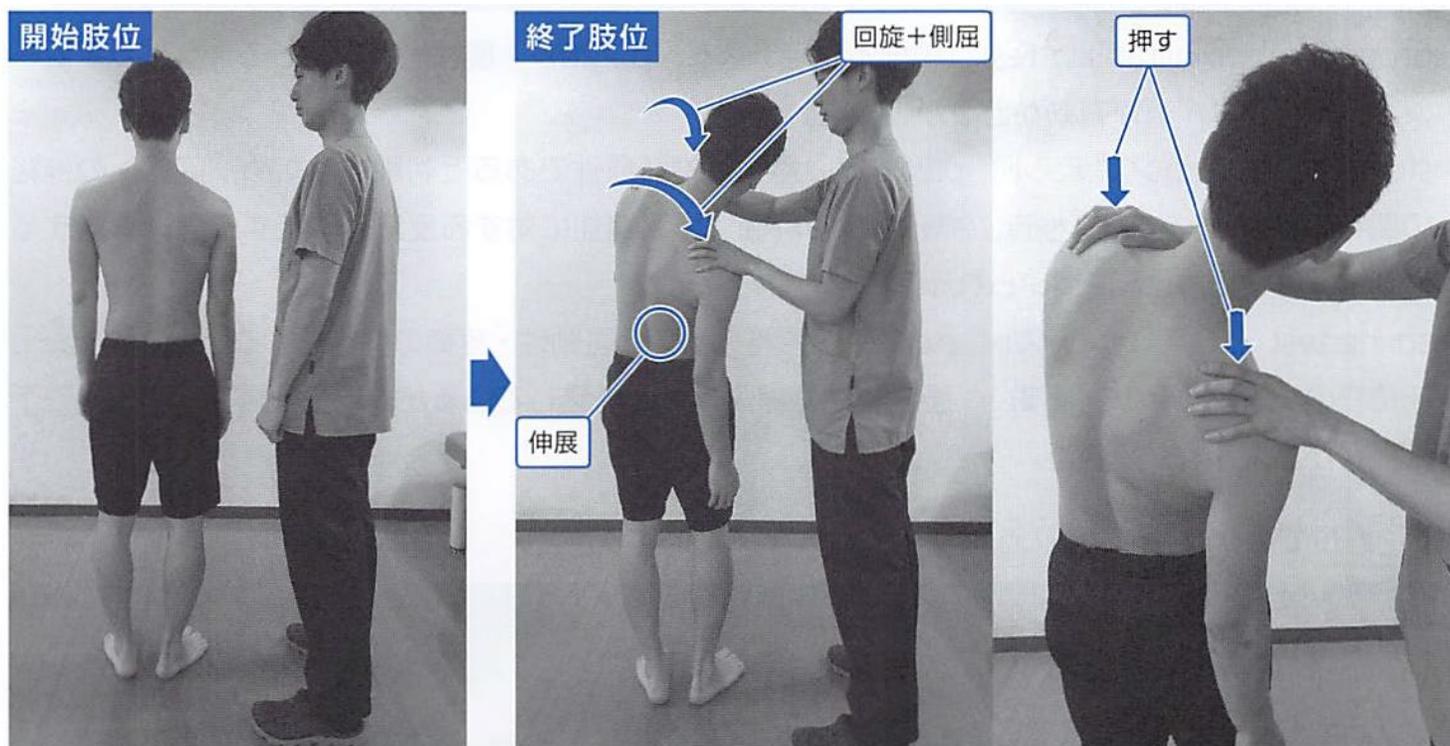
各対象関節において他動的に可動性を確認する

Kemp test

感度 : 高い
特異度 : 不十分

※腰椎椎間関節が疼痛を誘発しているかの検査
神経根への刺激で下肢症状が出現するかの検査

- ①患者を立位とする。
- ②患者に腰部伸展、側屈、同側回旋を行わせる。最後にcover pressureをかける。



陽性所見：腰部の局所の痛み、下肢への放散痛

画像は出版社、原著者から使用許諾済

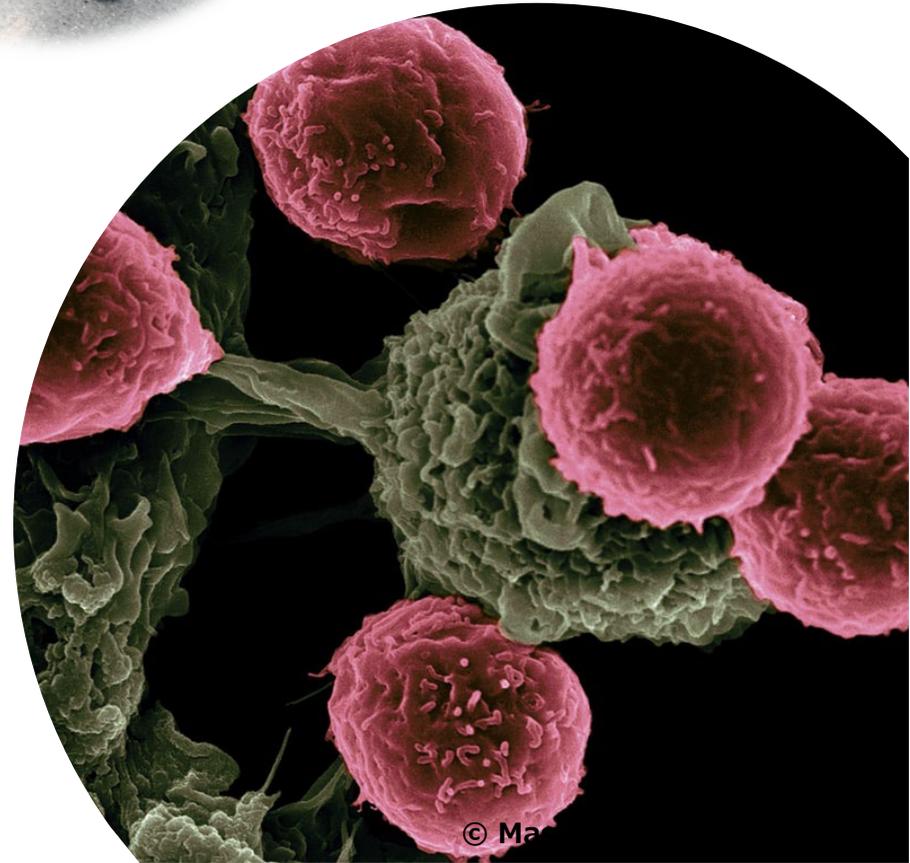
松村将司，三木貴弘（編）：適切な判断を導くための整形外科徒手検査法 エビデンスに基づく評価精度と検査のポイント。メジカルビュー社，東京，2020

© Masashi Matsumura

重篤な病理に起因する腰痛は 1～4%の頻度で発生する

- 骨折
- 悪性腫瘍
- 感染症
- 馬尾症候群

の4つの病因に関連するものに分類



Jarvik JG, Deyo RA.: Diagnostic evaluation of low back pain with emphasis on imaging. *Ann Intern Med.* 2002 ;137(7):586–97.

Raison NT, et al.: The reliability of red flags in spinal cord compression. *Arch Trauma Res.* 2014 ;3(1):e17850.

Henschke N, et al.: York J, Das A, McAuley JH. Prevalence of and screening for serious spinal pathology in patients presenting to primary care settings with acute low back pain. *Arthritis Rheum.* 2009 ;60(10):3072–80.

腰痛の人が来たらまず聞くこと・確認すること

- ・意図しない体重減少はないか？
- ・ガンの既往歴がないか？



脊椎の悪性腫瘍の可能性を疑う

- ・最近、転倒したりぶついたりしてないか？
- ・70歳以上ではないか？



骨折の可能性を疑う

- ・発熱、寒気、発汗はないか？
- ・最近、感染症などにかかってないか？



感染の可能性を疑う

- ・尿閉はないか？（おしっこが出ないなどないか？）
- ・便失禁などないか？



膀胱直腸障害の可能性を疑う

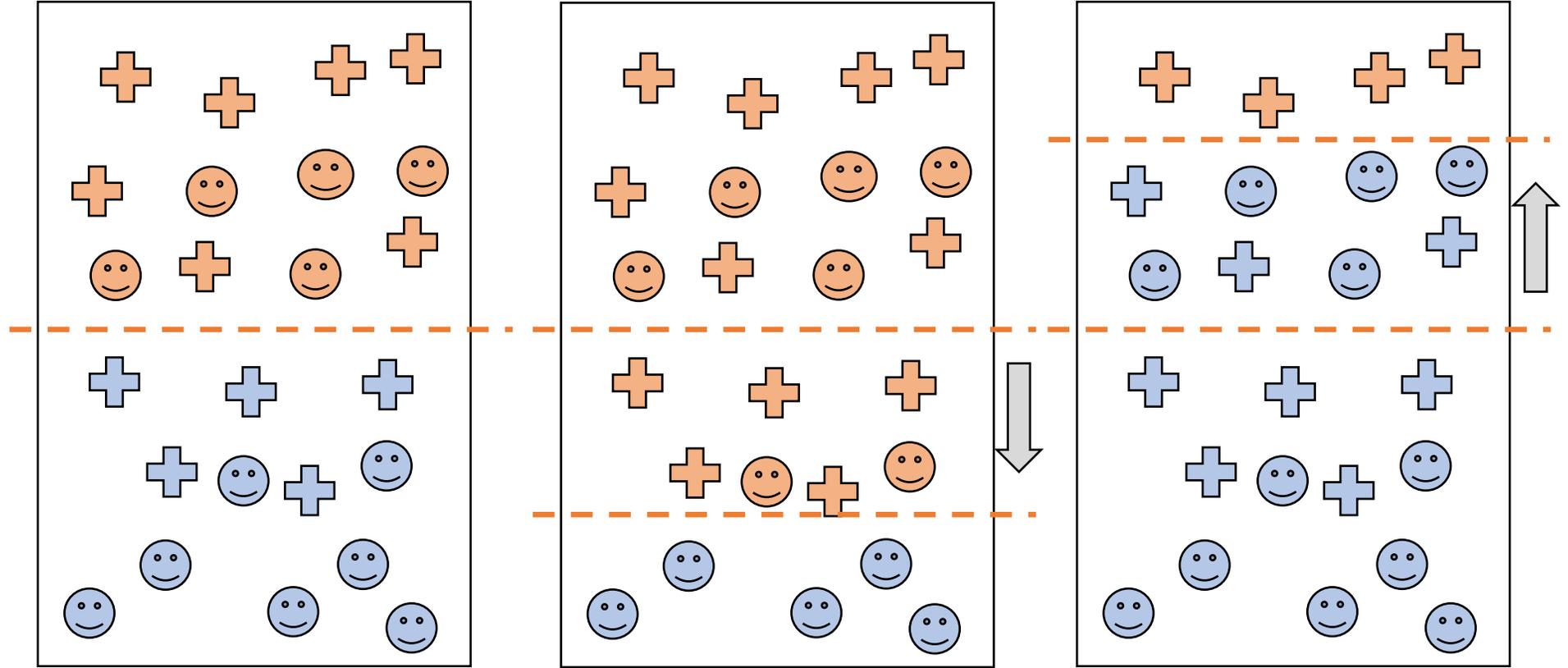
感度と特異度

⊕ 疾患あり

😊 疾患なし

感度が高い

特異度が高い



⊕	真陽性	😊	偽陽性	-----	Cut off point
⊖	偽陰性	😞	真陰性		